

文芸
おまえざき

俳句 おまえざき俳句会

今日もいく聞き飽きた曲を聴きながら
折々に楽しみの花咲かせてくれる子等と会う
新茶飲むすぐそばに亡き祖母がいて
小さな種残してくれた言霊の花咲かせます
朝鏡ありのままの私を今日も占う
春の木々己の個性を染めていく
娘出立ちの朝味噌汁の出汁丁寧採る
カキツバタ供え旅立つ子の無事祈る
春の香りだ娘が花活けてくれる
マイナスは考えない春の匂いの花見ています

増田絵里
山本英子
増田葉子
増田葉子
小野田重代
小野田重代
松井宏子
松井宏子
鈴木美穂
鈴木美穂
鈴木美穂

春霞 ばかりと浮いた白い富士
永遠のさよなら折鶴に伝言託す
ハマボウフウ這い出て原発を確かめる
挨拶して墓を通る 雀チチと啼く
履き尽くした靴に劳いのことばかけ
孫の言い分に耳を貸す丸い婆でいる
こけて転んで明日を拾う
蟻が喪服で並ぶ どこかでクワガタの葬儀
ストレスのシャボン玉飛ばして春風もいいな
独りぼっちの石ころが友だちになった

増田実の里
増森さく江
増森さく江
増森さく江
栗林純子
栗林純子
栗林純子
栗林純子
鈴木喜夫
鈴木喜夫
鈴木喜夫
鈴木喜夫

Books

図書館情報

PICK_01 一般

東京ダンジョン



主人公・的場は地下鉄の保線作業中に人影を目撃する。自分達以外には誰もいないはずなのに…。

またインターネット上でも「地底人」出現の噂が広がっていた。東京の地下を支配しようとしているものとは？その目的は？緊迫のサスペンス。

福田和代／PHP研究所

PICK 02 **子ども用**

あめあめふれふれねずみくん



ある雨の日、かさをさしているのはねずみくんだけ。「かさをささないの?」とねずみくんは尋ねますが、みんなの答えは「かさなんていらないよ」しょんぼりしていたねずみくんですが…。

長く読み継がれている「ねずみくん」シリーズの最新作です。

なかえよしお／ポプラ社

今月の新着図書

●一般

○□(しかく) (著者/阿部和重)

○お墓に入りたくない！散骨という選択（著者／村田ますみ）

○子どもの心に光を灯すー父母と教師はいま何をなすべきかー
(著者／東井義雄)

○ハウス食品社員のおうちカレーレシピ (著者/ハウス食品株式会社)

○私はコーヒーで世界を変えることにした。ー夢をかたちにする仕事道ー（著者／川島良彰）

○スマホは捨てる！（著者／鈴木進介）

○横綱 (著者／武田葉月)

○人はチームで磨かれるー職場を元気にする72の質問ー (著者/齋藤孝)

○俳優のためのハンドブッカー明日、舞台に立つあなたに必要なことー(著者/メリッサ・ブルーダー他)

●子ども

○おたんじょうびくろくま(作／たかいよしかず)

○おならゴリラ(作／もりやしげやす)

○ままみてて(作/まどかななみ)

○ガリレオ工房の炎のひみつー燃焼の科学ー(文/土井美香子)

○雨がしくしく、ふった日は－6月のおはなし－(作／森絵都)

○はみがきさん (作/せなけいこ)

○いけのおと (作／松岡達英)

○デカ物語～日本一長生きしたカバが見つめた半世紀
(著者／あんずゆき)

○わたしのひよこ(文／磯みゆき)